

それは「学生の問題」か？— アンプロを生む教育環境と構造的課題を考える —

岡田英理子（東京科学大学） 岸美紀子（群馬大学） 高橋誠（北海道大学）
西屋克己（関西医科大学） 小松弘幸（宮崎大学） 蓮沼直子（広島大学）
大槻真嗣（藤田医科大学） 長谷川仁志（秋田大学） 岡崎史子（新潟大学）
宮地由佳・西城卓也（MEDC）

全国の医学／医療者教育部門等で働く教職員にとって、大学や臨床実習の現場でみられるアンプロフェッショナルな行為への対応は、全国の共通した難題です。このテーマは、学生個人の態度や資質に焦点を当てて議論されがちで、各大学が個別に対応を模索してきましたが、十分な解決策に至らない状況もみられます。本ワークショップでは、“アンプロ”を「ひとごと」ではなく、「できごと」として捉え、人間はもとより、環境・評価・文化などが多層的に影響し合う教育システム上の出来事として捉え直すことを試みます。参加者は自大学の状況を共有し、アンプロ行為が生じる構造や支援の断絶点を可視化しながら、大学が包括的に果たし得る、評価・対応・判定・予防的環境づくり・コミュニケーション・カリキュラム設計などに関する多彩な役割について議論することを目的とします。

アソシエイトポイント：ML 0.25

対 象

医学／医療者教育部門に所属する教職員、その他関心のある方

定 員

40名